

情報ヘッドライン (2014.07/28～08/01)

7/28	健康・医療戦略を閣議決定、医療・介護等に関するデジタル化・ICT化を推進 政府
	政府は7月22日、健康・医療戦略推進本部において示された「健康・医療戦略(案)」を閣議決定した。健康・医療戦略では、今後10年程度を視野に入れた平成26年度からの5年間における次の4本柱を進めることを目指している。 (1) <u>世界最高水準の医療提供に資する医療分野の研究開発等</u> (2) <u>健康・医療に関する新産業創出および国際展開の促進等</u> (3) <u>健康・医療に関する先端的研究開発および新産業創出に関する教育の振興・人材の確保等</u> (4) <u>世界最先端の医療の実現のための医療・介護・健康に関するデジタル化・ICT化</u> 医療・介護・健康に関するデジタル化・ICT化については、データベースを含む異なるシステムから集められたデータを統合的に収集・分析できるように「技術的な連携・調整」「システム運用者間の横串調整」「デジタル基盤の維持費用の継続的な確保」などを一体的に実施する体制構築を目指す方針である。これにより、マイナンバー制度に対応していくと考えられる。 達成目標は平成32年(2020年)頃を目途に、レセプトデータだけでなく、これまで利活用されていない検査データなどを含む、現在は利用不可能な医療・介護・健康分野のデジタル基盤を構築し、臨床研究・治験などの医療情報も利用するとしている。 ■関連サイト： http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/suisin/suisin_dai2/gijisidai.html
7/29	平成27年度予算の全体像を公表、社会保障給付は聖域なく見直しを実施 政府
	政府は7月25日、経済財政諮問会議の取りまとめ資料として、平成27年度予算の全体像に関する資料を公表した。社会保障に関する予算配分に関しては、全世代型の社会保障への転換を進める観点から、こうした取り組みを通じ、高齢世代中心の給付という構造を見直すとしている。 <u>医療・介護の社会保障給付については、いわゆる「自然増」について高齢化による増加とそれ以外の要因による増加などその内容を厳しく精査することを含めて聖域なく見直し、効率化・適正化する。</u> また、地域横断的な医療介護情報のICT化により「見える化」を進め、先進的取組事例の横展開等により、医療介護支出の効率化・適正化を図る。地域医療構想の策定及びこれと整合的な医療費の水準等に関する目標設定等を通じて医療介護提供体制の適正化を推進するとして、ICT化に対する期待効果が明記された。 その他、平成27年度介護報酬改定を控え、社会福祉法人の内部留保の状況を踏まえて適正化を行いつつ、介護保険サービス事業者の経営状況等を勘案して見直すとしている。 ■関連サイト： http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/cabinet-index.html

情報ヘッドライン (2014.07/28～08/01)

7/30	病床機能の種別、実績データの提出を求める病床機能報告制度の詳細決定 厚労省 厚労省は7月24日に開催した病床機能情報の報告・提供の具体的なあり方に関する検討会の最終会合を踏まえて、このほど病床機能報告制度に関する議論の整理を公表した。 病床機能報告制度では、今年10月より病床機能における「現状」と「6年先の方向性」を病棟単位で都道府県に報告させ、地域の医療需要を勘案した「地域医療構想」を策定し、医療計画に反映させる。医療機関では病床機能の種別だけではなく、既存のレセプト情報や特定健診等のデータベースなど各種実績データの提出が求められている。診療報酬に関連して、施設基準の届出事項に係る状況の報告と同様に、病床機能報告制度においても7月1日現在の状況の報告を求めることとしている。 ■関連サイト☎：http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000052576.html
7/30	医療介護総合確保促進会議の初会合を開催、今後のスケジュール等を確認 厚労省 厚労省は7月25日、医療介護総合確保促進会議の初会合を開催し、会議の役割と今後の進め方、地域における医療及び介護を総合的に確保するための仕組み、医療・介護提供体制の見直しに係る今後のスケジュール等を確認した。 医療・介護提供体制の見直しは、今年度より平成30年度の診療・介護報酬の同時改定を照準に合わせて、平成29年度中に医療計画及び介護保険事業支援計画等を策定し、運営に係る財源は消費税を活用し、都道府県に基金を設置していく。 ■関連サイト☎：http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000052249.html
7/31	日・メキシコ首脳会談時に医療・保健分野の協力覚書に合意 厚労省 厚労省はこのほど、医療・保健システムや医薬品・医療機器の規制に関する経験等の共有などを盛り込んだ、メキシコとの協力関係を樹立する覚書を首脳会談時に合意した。今回の署名により、協力関係国はバーレーン、トルクメニスタン、カンボジア、ラオス、ミャンマー、トルコ、ベトナムに続く8か国目となった。 ■関連サイト☎：http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/topics/tp140728-1.html
8/1	介護プロフェッショナルキャリア段位の新規認定者を公表 シルバーサービス振興会 介護プロフェッショナルキャリア段位制度を運営するシルバーサービス振興会はこのほど、新規レベル認定者誕生に関する情報を公表した。今回、17名のレベル認定者が新たに誕生し、認定者の総数は合計46名となり、着実に増加している。 ■関連サイト☎：https://careprofessional.org/careproweb/jsp/

《Web サイトより資料をダウンロードする場合の注意点》

掲載サイトの URL リンク切れの際はあしからずご容赦願います。なお、掲載 URL が長い場合リンクが不十分（アドレス途中認識）になる場合もございますので、URL の右端をクリックしてください（Adobe Reader 最新版推奨）。